

2010年度
朝日賞
第64回
毎日出版文化賞
(企画部門)
ダブル受賞!!

最高の翻訳で贈る全く新しい全集。

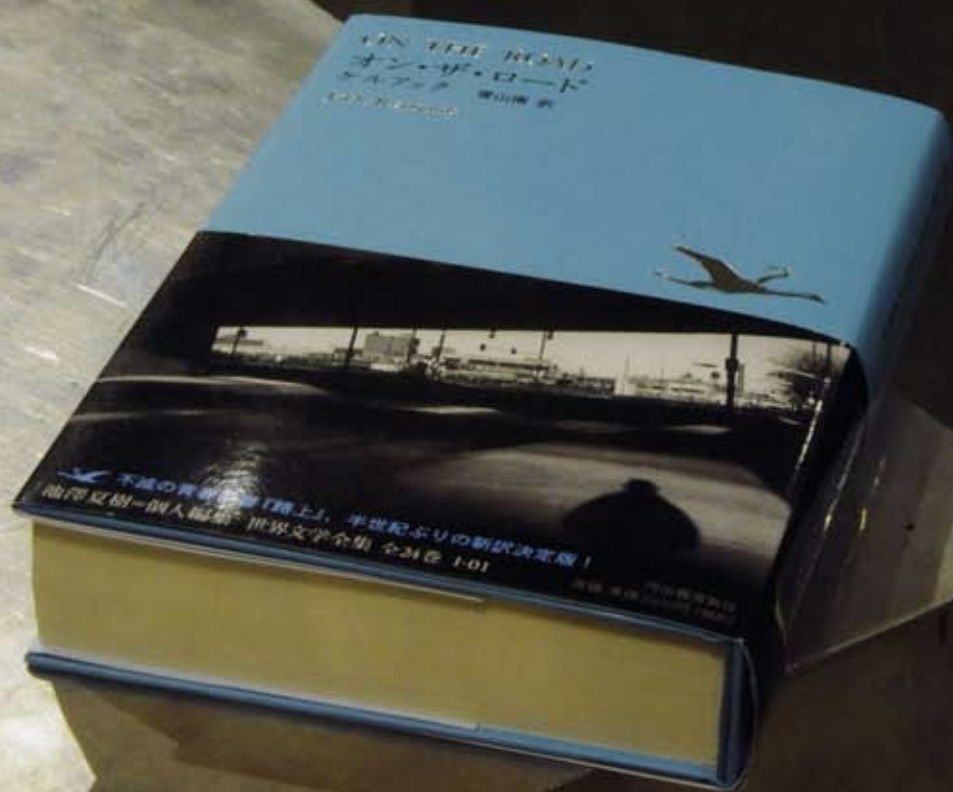
ノーベル文学賞受賞作家、多数収録！各紙誌に書評多数掲載！

池澤夏樹=個人編集

世界文学全集

河出書房新社 創業120周年 記念企画

全30巻



世界はこんなに広いし、
人間の思いは
こんなに遠くまで
飛翔する。
それを体験してほしい。

Ikezawa Natsuki 池澤夏樹

世界文学全集 宣言

Ikezawa Natsumi

池澤夏樹



Photo: Philippe Masu

人が一人では生きていけないように、文学は一冊では成立しない。一冊の本の背後にはたくさんの本がある。本を読むというのは、実はそれまでに読んだ本を思い出す行為だ。新鮮でいて懐かしい。そのため、「文学全集」と呼ばれる教養のシステムがかつてあった。それをもう一度作ろうとぼくは考えた。

三か月で消えるベストセラーではなく、心の中に十年二十年残る読書体験。

その一方で、それは明日につながる世界文学の見本市、作家を目指す若い人々のための支援キットでなければならない。敢えて古典を外し、もっぱら二十世紀後半から名作を選んだのはそのためだ。世界はこんなに広いし、人間の思いはこんなに遠くまで飛翔する。それを体験してほしい。

池澤夏樹

一九四五年北海道生まれ。作家、詩人。翻訳も手がけ、書評、エッセイなども数多い。一九八八年『ステイル・ライフ』で芥川賞受賞。著書に、『マシアス・ギリの失脚』『静かな大地』『カテナ』など。

推薦のことば

旅感！

Ebani Kaori

江國香織

ケルアック「路上」の新訳から始まる、と聞いただけで、この全集自体の持つ旅感に胸が躍る。リストを見て、おお、おお、と、九回も声をあげた。これらの名作たちが、かつて、かの「海外小説選」を刊行した河出書房新社と、池澤夏樹という、風変わりな天然石のような文学者によって、一冊ずつ丁寧に編まれ、新しく書物として本屋さんにならぶ、と思うとただもう嬉しい。「新鮮な」文学全集というものを、ひさしく見たことがなかったからだ。

この新しさは価値である

Shihara Motoyuki

柴田元幸

誰もが一応文句のない作品を並べた無難な全集ではなく、一人の愛情と情熱と偏見とに貫かれた、編者の顔が見える世界文学全集。そりゃあ、ろくでもない一個人の愛情や偏見では困るが、池澤夏樹のそれなら歓迎である。20世紀後半の作品を中心にしたセレクションは、これまでに出版されたどの世界文学全集とも違って、新しい。もちろん新しさ自体はかならずしも価値ではないが、この新しさは確実に価値である。

池澤夏樹 個人編集 **世界文学全集** 全 30 卷
第 I 集全 12 卷

1 オン・ザ・ロード
ケルアック 青山南訳

ON THE ROAD Jack Kerouac

新訳



不滅の青春の書『路上』、半世紀ぶりの新訳で登場
■若者たちの終わらない旅の向こうに自由の夢がきらめく。ビート世代の誕生を告げ、その後のあらゆる文化に決定的影響を与えた伝説的名作。

一九二六年、アメリカ生まれ。ビート世代の代表的作家。『地下街の人びと』『悪源天使たち』他。

2 楽園への道
バルガスリリヨサ 田村さと子訳

EL PARAISO EN LA OTRA ESQUINA Mario Vargas Llosa

初訳



ゴーギャンとその祖母がたどった自由への道
■ラテンアメリカ文学の巨匠が、ゴーギャンとその祖母で革命家のフロラ・トリスタンの激動の生涯を、異なる時空を見事につなぎながら描く。

一九三六年、ペルー生まれ。ラテンアメリカ文学を代表する作家。『緑の夢』『世界終末戦争』『ヤキの夜宴』他。

3 存在の耐えられない軽さ
クンデラ 西永良成訳

L'INSOUTENABLE LÉGERÉTÉ DE L'ÊTRE Milan Kundera

新訳



「プラハの春」後の悲劇を背景とした究極の恋愛小説
■正常化という名の大弾圧の時代、四人の男女の愛と愛憎と絶望と冷笑の物語。著者自身が真正テクニクとする仏語版からの新訳。映画化。

一九二九年、チェコ生まれ。「プラハの春」以降、国内批判と国外亡命を繰り返す。『笑いと忘却の書』不滅他。

4 太平洋の防波堤／愛人 ラマン
デュラス 田中倫郎／清水徹訳

UN BARRAGE CONTRE LE PACIFIQUE / L'AMANT Marguerite Yourcenar

悲しみよこんにちは
サガン 朝吹登水子訳

BONJOUR TRISTESSE Françoise Sagan

全面改訳



多感で残酷な少女を鮮烈に描いたデビュー作
■南仏の海岸を舞台に、十七歳の少女セシルの好奇心、独占欲、完璧なものへの反撥、愛と孤独が描かれる衝撃のデビュー作。映画化。

一九一九年、一九四〇年、ワクライナ生まれ。反体制作家として活躍。『本質』は没後発表された『二つの心臓』他。

5 巨匠とマルガリータ
ブルガーコフ 水野忠夫訳

МАСТЕР И МАРГАРИТА Mikhail A. Bulgakov

6 暗夜
残雪 近藤直子訳

AN YE Cao Xue

7 ハワーズ・エンド
フォースター 吉田健一訳

THÂN PHẬN CỦA TÌNH YÊU Bào Ninh

全面改訳



全世界を揺るがした現代中国文学の鬼才のベスト作品集
■人語を解する狼の山を目指す夜の旅を描く表題作のほか、桃源郷や不思議な木の家など、夢の論理に満ちた奇想天外な物語集。

一九五一年、ヴェトナム生まれ。ヴェトナム人民軍に入隊した体験をもとにした本書で数々の文学賞を受賞。

異なる価値観をもつ人々は理解し合うことができるのか
■ドイツ系の知識人家庭で育った姉妹と、保守的なブルジョワ一家の交

一九七九年、一九七〇年、イキリ又生まれ。異なる文化間の理解をめぐる作品を数多く上梓。『僕のいい部屋』他。

HOWARDS END E.M.Forster



異なる価値観をもつ人々は理解し合うことができるのか
■ドイツ系の知識人家庭で育った姉妹と、保守的なブルジョワ一家の交

一九七九年、一九七〇年、イキリ又生まれ。異なる文化間の理解をめぐる作品を数多く上梓。『僕のいい部屋』他。

8 アフリカの日々

ディネセン 横山貞子訳

OUT OF AFRICA Erik Dinesen

やし酒飲み

チュツオーラ 土屋哲訳

THE PALM-WINE DRINKARD Amos Tutuola

9 アブサロム、アブサロム!

フォークナー 篠田一士訳

ABSALOM, ABSALOM! William Faulkner

10 アデン、アラビア

ニザン 小野正嗣訳

ADEN ARABIE Paul Nizan

名誉の戦場

ルオー 北代美和子訳

LES CHAMPS D'HONNEUR Jean Rouaud

11 鉄の時代

クッツェー くぼたのぞみ訳

AGE OF IRON J.M.Coetzee

12 アルトゥーロの島

モランテ 中山エツコ訳

L'ISOLA DI ARTURO Elsa Morante

モンテ・フェルモの丘の家

ギンズブルグ 須賀敦子訳

LA CITTA' E LA CASA Natalia Ginzburg

第II集全12巻

1 灯台へ

ウルフ 鴻巣友季子訳

TO THE LIGHTHOUSE Virginia Woolf

サルガッソーの広い海

リース 小沢瑞穂訳

WIDE SARGASSO SEA Jean Rhys



デンマーク最大の女性作家による生と死の壮大なサーガ
■ケニアのコーヒー農園で女主人として生きた十七年の日々。北欧の高貴な魂によって綴られる、大地と動物と人間の豊かな交歓。



アフリカの魔術的世界を描いた先駆的名作



■子供の頃からのやし酒飲みが、死んだやし酒造りの名人を探して死者の町へ旅立つ。各国語に翻訳されたアフリカ文学の金字塔。



南部の差別と人間の苦悩を描くノーベル賞作家の代表作



■アメリカ南部の濃密な空間を重層的な語りで立ち上らせるヨクナパトーファ・サーガの最高峰。呪われた血に翻弄される一族の物語。



憤怒と叛逆に彩られた、若者の永遠のバイブル



■「僕は二十歳だった。それが人生でもっとも美しいときだなんて誰にも言わせない」冒頭の一行ですべての若者の心を魅了した青春のバイブル。



鮮やかに甦る無名の犠牲者たちの悲しみの記憶



■第一次大戦に倒れた無名の人々の思い出を掘り起こし、ユーモアと優しさあふれる筆致で描き出す、ゴンクール賞受賞の話題作。



むき出しの暴力に直面した人間の苦悩



■反アパルトヘイトの嵐が吹き荒れるケープタウンで、末期ガンの老女が目当たりとする暴力の現実。ノーベル賞作家の傑作を初紹介。



聖なる島に閉じこめられた少年の禁断の恋



■ナポリ湾に浮かぶ小島を舞台に、多感な少年とその美しい義母との禁じられた恋の行方。戦後イタリア最大の女性作家の名作。映画化。



「家族とは何か」を問い続ける作家の到達点



■60〜70年代に若者たちが謳歌した自由への道は、多くの絆を断ち切ってしまった。失われた家族や友との絆は再び取り戻せるのだろうか。



失われゆくものへの思慕にあふれた愛の物語



■灯台を望む小島の別荘を舞台に描く哲学者の一家とその客人の内面のドラマ。懐かしい父母に思いを寄せて書き上げたこの上なく美しい傑作。



西インド諸島出身の作家が描くもう一つの『シエイン・エア』



■奴隷制廃止後の英領ジャマイカ。異なる文化に引き裂かれたつつ植民地に生きる白人の生の葛藤を浮き彫りにした愛と狂気の物語。映画化。

一八八五〜一九六二、デンマーク生まれ、本名カレン・ブリークセン、ケニアの農園に嫁ぎ、七つのゴンクールの賞を受賞。

一九二〇〜一九七、ナイジェリアのヨルバ族出身、その確かな文体とアフリカ独特の世界観によって高く評価された。

一八七〜一九六二、アメリカ生まれ、南部の架空の町ヨクナパトーファを舞台にした作品を生み出す。八月の光他。

一九〇五〜四〇、フランス生まれ、盟友サルトルと共にコミューニスト知識人として活躍。軍大尉。他。

一九五二〜、フランス生まれ、本書は「偉人伝」「だいたい世界」『フレンチ』に登場です。などとあわせて五部作。

一九四〇〜、南アフリカ生まれ、マンデルとKに激賞。二部作。『アトランティック』、『二重のファンク』、『三層のノーベル文学賞』。

一九二一〜八五、イタリア生まれ、モラヴィアは元夫。本書でストレーカ賞。『アンダルシアの霧がけ』、『聖なる島』他。

一九二六〜九二、イタリア生まれ、夫はヴァン・クラムムのリーダーで『ある朝』、『ある朝の余韻』、『ストレーカ賞』。

一八八二〜一九四一、イギリス生まれ、妻明倫に造詣が深く小説のほか評論でも活躍。『マロウエイ夫人』他。

一八九〇〜一九七九、英領下三カ島生まれのイギリス人、自伝的小説を数々発表。『真夜中よ、おはよう』他。

新訳

新訳

初訳

全面改訳

新訳

2 失踪者

カフカ 池内紀訳

DER VERSCHOLLENE Franz Kafka



カッサンドラ

ヴォルフ 中込啓子訳

KASSANDRA Christa Wolf



全面改訳

3 マイトレイ

エリアーデ 住谷春也訳

MATREYI Mircea Eliade



軽蔑

モラヴィア 大久保昭男訳

IL DISPREGIO Alberto Moravia



4 アメリカの鳥

マッカーシー 中野恵津子訳

BIRDS OF AMERICA Mary McCarthy



新訳

5 クーデタ

アップダイク 池澤夏樹訳

THE COUP John Updike



6 庭、灰

キシユ 山崎佳代子訳

BAŠTA, PEPEO Danilo Kiš



初訳

見えない都市

カルヴィーノ 米川良夫訳

LE CITTÀ INVISIBILI Italo Calvino



7 精霊たちの家

アジェンデ 木村榮一訳

LA CASA DE LOS ESPIRITUS Isabel Allende



8 パタゴニア

チャトウイン 芹沢真理子訳

IN PATAGONIA Bruce Chatwin



老いぼれグリンゴ

フエンテス 安藤哲行訳

GRINGO VIEJO Carlos Fuentes



二十世紀を代表する作家がアメリカを舞台に描いた最初の長篇
■故郷ブラハを追われた十七歳の青年が、新大陸アメリカの底辺をさまよう。カフカ三大長篇の一つを草稿に基づき翻訳した決定版。映画化。

旧東ドイツを代表する作家が読みかえるギリシャ神話の世界
■自国の滅亡を予見した女王カッサンドラ。だからも予言を聞き入れられぬまま、死を目前に語り直されるトロイア滅亡の物語。

タブーを超えて惹かれ合う若き男女の悦楽の神話
■インドの大地に身を委ねた若きヨーロッパ人技師が下宿先の娘と恋に落ちる。作者自身の体験をもとに綴られる官能の物語。映画化。

人間の愛と孤独を描いたイタリア文学の巨匠による傑作
■ふとしたことから夫を寄せ付けなくなった妻。甘美な愛欲の介在しない男女に魂の交流と深い理解はありうるのか。映画化。

アメリカと欧州の狭間で悩む若者の精神の遍歴
■ベトナム戦争拡大期、カントの「人を手段として利用してはならない」を胸にフランス留学した米国人学生は、自身の反米主義に悩む。

陰謀渦巻くアフリカの大地を舞台に紡がれる異色の長篇
■早魃と飢饉に苦しむ内陸国タシュ。コーラン響きわたる冷戦下のアフリカを舞台に、戦後アメリカ最大の作家が巧みに構築した物語。

アウシュビッツに消えた父の記憶
■甘やかな幼年時代が戦争によりもぎとられ逃避行を余儀なくされる一家の悲劇を、抒情とアイロニーに満ちた筆致で描く自伝的長篇。初邦訳。

ポストモダン文学の名手による仕掛けに満ちた長篇
■フビライ汗の龍臣となったマルコ・ポーロが語る帝国の諸都市の見聞録。幾何学的な形式に沿って象徴的に描かれた物語。

幻想と現実の間を自在に行き来する圧倒的な語り
■絶世の美女が生きた神話の時代から、軍による恐怖政治の時代まで、三代にわたって一族の女たちがたどる数奇な運命。映画化。

透徹した知性が紡ぎ出すイギリス紀行文学の極致
■幼い頃に魅せられた一片の毛皮の記憶。パタゴニアで出会うさまざまな人々。不毛の大地に漂着した見果てぬ夢の物語。

ブームの世代を代表する作家によるベストセラー小説
■メキシコに渡った『悪魔の辞典』の作者ピアスが反乱軍に加わり、移動と戦闘を繰り返す。愛と憎しみに引き裂かれる物語。映画化。

一八八三―一九二四、テデオ生まれのドイン傑作集。「愛」をはじめ、多くの傑作を生み出す。「審判」「嵐」他。

一九一九、現ホーランド生まれ。旧東独の過去に現実をふまえた作品を次々発表。「グリスタ」・「Tの運命」他。

一九〇七―八六、ルーマニア生まれ。数々の権威として活躍しつつ短編小説を発表。「狂神たちの夜」他。

一九〇七―九〇、イタリア生まれ。絶作「悪魔心な人」として大成功を収める。「慈悲」でワイアレッジ賞受賞。

一九二二―八九、アメリカ生まれ。エドマンド・ウィルソンと結婚後、小説評論で活躍。ワルター・セグール賞。

一九三二―二〇〇九、アメリカ生まれ。「ケンタウロス」で全米図書賞受賞。多くの評論家と対峙。「売れっ子」他。

一九三五―八九、セルビア生まれ。二十世紀東欧を代表する作家。「死者の日記」(初訳)で「死者の日記」賞受賞。

一九三二―八五、キューバ生まれのイタリア作家。二十世紀後半の世界文学を代表する存在。「木のほり」他。

一九四二―、ベルギー生まれのチリ作家。チリの独アジェンデ大統領の時、現在はアメリカ在住。「エバル」他。

一九四〇―八九、イギリス生まれ。英語や考古学を学んだ後、世界をめぐり執筆を続ける。「ワンクライン」他。

一九八二、パナマ生まれのメキシコ作家。小説、評論などで大作家を産む。セルバンテス賞受賞。「われらが大地」他。

9 フライデーあるいは太平洋の冥界

トゥルニエ 榎原晃三訳

VENDREDI OU LES LIMBES DU PACIFIQUE Michel Tournier

黄金探索者
ル・クレジオ 中地義和訳

LE CHERCHEUR D'OR J.M.G. Le Clezio

10 賜物

ナポコフ 沼野充義訳

JAP. Brantump B. Hasegawa

11 ヴァインランド

ピンチヨン 佐藤良明訳

VINELAND Thomas Pynchon

12 ブリキの太鼓

グラス 池内紀訳

DIÉ BLECHTRONNEMEL Günter Grass

第Ⅲ集全6巻

1 わたしは英国王に給仕した

フラバル 阿部賢一訳

OBSLHOVAL JSEM ANGLICKÉHO KRALE Bohumil Hrabal

2 黒檀

カプシチンスキ 工藤幸雄／阿部優子／武井摩利訳

HEBAN Ryszard Kapuściński

3 ロード・ジム

コンラッド 柴田元幸訳

LORD JIM Joseph Conrad

4 苦海浄土

石牟礼道子

KUGAJIODO Ishimure Michiko

5 短篇コレクションI

COLLECTED STORIES I

6 短篇コレクションII

COLLECTED STORIES II



現代フランスを代表する作家が人間と文明の意味を問う大作
■南海の孤島で遭難したロビンソンの物語を、野生人フライデーの側から読みかえる寓話的作品。アカデミー小説大賞受賞。

ノーベル賞受賞作家による、魅惑に満ちた自伝的小説
■失われた楽園を取り戻すため、父の遺した海賊の地図を手がかりに財宝探索の旅に出る。一族の叙事詩として描かれた海の物語。

言葉の魔術師ナポコフの傑作をロシア語原典から初めて翻訳
■革命で祖国を追われた青年が、父への追憶とロシア文学への敬慕の念を抱きつつ、文学修業に励む。精緻な仕掛けに満ちた長篇。

鬼才が十七年の沈黙の後に発表した大傑作
■ギャグ満載のポップな装いの下、輝けるアメリカを覆う呪われたアメリカを繊細に重厚に時にセンチメンタルに描き出す。全面改訂の詳注付。

永遠の三歳児が自撃したナチス台頭期の東欧
■三歳で成長をやめたオスカルがブリキの太鼓の連打にのせて語る、猥雑で奇怪、寓意に溢れた物語。ノーベル賞作家代表作の新訳。映画化。

小さな国の小さな給仕人のおかしくも悲しい人生
■ナチスによる併合、第二次大戦、そして共産主義体制というチェコの激動の時代を生きた主人公の人生を、絶妙の語りで描く。映画化。

アフリカの本質を描くホルター・ジュ文学の傑作
■ジャーナリストの著者が、アフリカ諸国の断片を鋭く切り取り、個人的な体験と庶民の視線からアフリカの実像を浮かび上がらせる。

『闇の奥』の作家が放つ海洋小説の名作
■若き航海士ジムは、嵐で難破した船と乗客を見捨てて逃げ、その過去を隠して東南アジアの港を渡り歩く。新訳決定版。映画化。

生きることの意味をふかく問う鎮魂の文学
■水俣の不知火海に排出された有機水銀により自然や人間が破壊されてゆく悲劇を見事な文学作品に結晶させた傑作。三部作を一巻で。

南北アメリカおよびアジア、アフリカの傑作二十篇
■トニ・モリスン「レシタティブ」、アチエベ「呪い卵」、張愛玲「色、戒」などの新訳・初訳から、コルタサル、カーヴァーらの名作まで。

ヨーロッパを代表する作家の十九の短篇
■ランベドゥーサ「リゲア」、ベル「X町での一夜」、ウエルベック「ランサローテ」などの新訳・初訳から、タブッキ、インシグロらの名作まで。

一九四一、フランス生まれ、幼少よりドイツ文化に親しむ。「黒い小人」他。

一九四〇、フランス生まれ、邦女長篇「園遊」でルノー賞受賞。「海を見たことがなかった少年」他。

一九九一、一九七七、ロシア生まれ、四〇年アメリカ移住。英語で発表した「ロリータ」で名声を得る。『ブーヂー』他。

一九二七、アメリカ生まれ、現代アメリカを代表する百科全書作家。『暴力の虹』で全米図書賞受賞。『V』他。

一九二七、現ポーランド生まれのドイツ作家。小説や戯曲を執筆。ノーベル文学賞受賞。「年の年」「ひらめき」他。

一九三二、二〇〇七、ポーランド生まれ。ジャーナリストとして世界各国を取材。「帝国」「サンカー」他。

一八五七、一九二四、ポーランド出身の愛国作家。船員体験を経てイギリスで小説家となる。「闇の奥」他。

一九二七、熊本県生まれ。本書は環境の文学として絶賛される「十六夜」が第一はにかみの四篇。全篇刊行中。





かつてない斬新で美しい世界文学全集

特色

池澤夏樹による個人編集

従来の複数の編集委員による編集形式を取らず、作家・詩人の池澤夏樹が独自の視点で、全30巻（長篇40作品、短篇39作品）を厳選しました。

かつてない斬新な作品構成

シェイクスピアやダンテに始まるこれまでの文学全集の構成にとらわれることなく、膨大な書物の海の中から、いま求められる真の必読書、人生の指針となるような作品を選び抜きました。多元化の一途を辿る現代の世界を深く知る上でも欠かせないコレクションです。

初訳・新訳を数多く収録

伝説的名作、ケルアック『路上』の新訳『オン・ザ・ロード』をはじめ、ウルフ『灯台へ』、グラス『ブリキの太鼓』、コンラッド『ロード・ジム』など不朽の名著を、最高の翻訳者が訳し直し、作品の新たな魅力をお伝えます。また、バルガス＝リョサ、クッフェーラ20世紀を代表する作家の本邦初訳作品を紹介します。

紀行やルポルタージュも収録

チャトウィン『パタゴニア』、ディネセン『アフリカの日々』、カプシチンスキ『黒檀』など、小説の枠組みにこだわらず、優れた紀行やルポルタージュも収録しました。

月報に池澤夏樹エッセイ

各巻月報には、収録作品をテーマとした池澤夏樹の書き下ろしエッセイを掲載します。

読みやすさを追及

1段組を基本とし、文字の大きさや書体、行間などにも工夫をこらして、読みやすさを追求しました。

カラフルで軽やかな装幀

これまでの文学全集のイメージを一新。巻ごとに変わる、カバーの鮮やかな色彩が特徴です。帯は各巻にふさわしいイラストや写真で装いました。

手頃な価格設定

一人でも多くのおみなさまにご愛読いただけるよう、お求めやすい価格を実現しました。

池澤夏樹=個人編集 世界文学全集 全30巻

全30巻

●揃本体80,000円〔税別〕

セット ISBN 978-4-309-87428-9

各巻本体各2,100円～4,100円

体裁＝四六寸伸判(191×131mm)／上製箔押カバー装／各巻平均500ページ／はさみ込み月報付

装幀＝KAWADE DESIGN WORKS

